

大雪時の雪 対策について

3 私たちに何ができるの？

2 大雪のときや、大雪が予想されるときには、札幌市だけではなく自分たちでも協力できることがあるんじゃないか

1 本当にこれで大雪を乗り越えられるの？

2 大雪時に生じるリスク

- 交通渋滞・物流の混乱
- 立ち往生など車の通行障害
- 公共交通機関の運休、遅延

1 令和3年度の大変だった大雪は大変だった

大雪時の対策のポイント 3 市民や企業の皆さまにご協力をお願いします

大雪時の影響をできる限り小さくし、効率的な除排雪作業を行うため、ご協力をお願いします。

通常時

市民の皆さま

- 冬期間は**普段から時間に余裕を持った行動**を心がける
- 冬のルール（路上駐車や雪出しをしない）を順守する
- 大雪などにより公共交通機関が運休した際の行動（通勤・通学など）を決めておく
- 車を利用する際は非常用品など^{*}を備える
- ^{*}防寒具・スコップ・けん引ロープ・十分な燃料・スノーヘルパー・毛布・飲料水・食料

企業の皆さま

- 時差出勤や出勤の抑制が可能**な業務環境の整備などにより、大雪でも企業活動が大幅に低下しないようにする
- ※札幌市が行っているテレワーク導入補助金をご活用ください。なお、申請件数が予算の上限に達した場合は、受付期間中でも募集を締め切ることがあります
- 詳細：札幌市働き方改革・人材確保サポートセンター（愛称：はたサポ）
電話番号：219-1331



大雪時

大雪時には、札幌市公式ホームページやSNSなどにより、警報発表情報や札幌市の対応状況、皆さまにご協力をお願いしたいことなどを発信します。

市民の皆さま

- 渋滞緩和のため、**車による不要不急の外出を可能な限り控える**



企業の皆さま

- 渋滞緩和のため、**時差出勤の実施や出勤を抑制する**



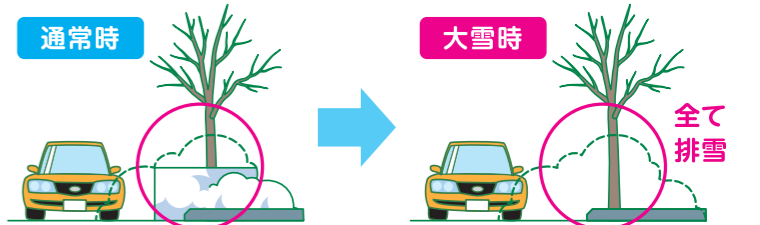
札幌市は、大雪でも市民生活への影響を最小限にとどめるよう、対策を立てているんじゃないか

どんな内容なの？

大雪時の対策のポイント 1 排雪作業の前倒しと強化

幹線道路の運搬排雪の前倒しと強化

幹線道路の運搬排雪は1月上旬に開始し、道路脇の雪山を一部残す方法で行っています。初冬から大雪の傾向が見られ、市民生活への影響が懸念される場合には、運搬排雪の開始を前倒すとともに、重要な道路では道路脇の雪山を**全て**排雪します。



重要な道路では、**早期に道路の雪山を全て排雪し、雪を置くスペースを確保することで、一定の道路幅を確保できる期間が長くなります**

生活道路（住宅街の道路）の緊急排雪

全市的に排雪作業の遅れが見込まれる場合には、パートナーシップ排雪を取りやめ、市の費用負担で、作業のスピードを重視した生活道路の緊急排雪を行います。

大雪時の対策のポイント 2 雪堆積場などの増強

- 河川敷地などを活用し**雪堆積場を増やす**
- 緊急用雪堆積場の速やかな開設**
- 河川敷地雪堆積場のかさ上げ^{*}
- 公園、学校グラウンドへの雪入れなど^{*}



※春先の利用に影響が生じる場合があります。ご理解をお願いします

札幌市の大雪時の対策の詳細

より多くの雪の受け入れを可能とすることで、運搬排雪の効率化を図ります

除雪作業時の事故に注意

除雪作業は危険が伴う場合があります。作業中にけがや事故などがあつたときすぐ対処できるよう、除雪は2人以上で行いましょう。

雪下ろし

- 無落雪屋根の普及などにより、屋根の雪下ろしは基本的には不要
- 建物の周りに雪を残してクッションに
- 命綱やヘルメットを着用
- 靴は滑りにくいものを履く
- スノーダンブは小回りの利くものを
- はしごはしっかりと固定する

雪かき

- 気温が高い日は屋根からの落雪に注意
- 心臓発作などを防ぐため疲労時は作業をしない
- 作業時にはスマートフォンなどを持つ

小型除雪機の使用

- コートやマフラーなどの巻き込みに注意
- 雪詰まりの処理は必ずエンジンを切ってから
- 機械の手入れはこまめに

※参考：内閣府ホームページ

安心・安全な冬のくらしのために、
みんなで協力し合うことが大切だね

公園を雪置き場として利用するには手続きを

公園に雪を入れることは禁止されていますが、町内会と札幌市との間で「覚書」を交わし、ルールを守って雪置き場として利用できます。



公園を雪置き場にする場合のルール・注意点

- パトロールを行う
- 機械による雪入れはしない
- 遊具・樹木の周りに雪を置かない
- 春の清掃を行う

※雪を入れるためのスロープは、道路と直線的に結ばず、勾配を緩くしてください



〈原則〉

子どもたちの事故、遊具・樹木の損傷の恐れがあるため、公園に雪を入れることができません。

雪の重みで遊具や樹木が損傷してしまいます！



けがや不慮の事故を招く可能性があります！



札幌市のホームページでもご確認ください

雪堆積場に週休日を設けています

- ・雪堆積場は一部の箇所を除き、毎週日曜日午前9時から月曜日午前9時まで、原則として閉鎖します。
- ・日曜日に開設する一部の雪堆積場など、詳細については札幌市公式ホームページに掲載します。

雪堆積場情報



除雪や雪に関する情報を発信しています

翌日の雪かきや通勤・通学時間の目安として、札幌市などで提供している情報をご活用ください。

除雪の出動情報

生活道路(住宅街の道路)の新雪除雪の出動情報を掲載します。テレビのデータ放送、札幌市公式ホームページ、札幌市LINE公式アカウントからご確認ください。

情報提供期間：12月1日(金)～令和6年3月20日(水・祝)

テレビのデータ放送

放送局：HTB、NHK、HBC、UHB



リモコンのチエックボタンを押して

札幌市公式ホームページ

更新頻度：10分間隔



札幌市LINE公式アカウント

配信時間：6時～24時
登録方法はホームページをご覧ください



雪かき指数

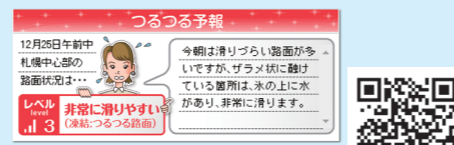
翌朝の雪かきの必要度を4段階で表示



(札幌市公式ホームページ)

つるつる予報

歩道の滑りやすさを3段階で予測



(ウインターライフ推進協議会のホームページ)

つるつる路面での転倒に気をつけましょう

例年1,000人を超える方が冬の路面で転倒し、救急搬送されています。札幌市では、人通りの多い歩道や横断歩道に滑り止めの砂をまくなどの対策をしていますが、皆さまも転倒を避けるための対策をお願いします。

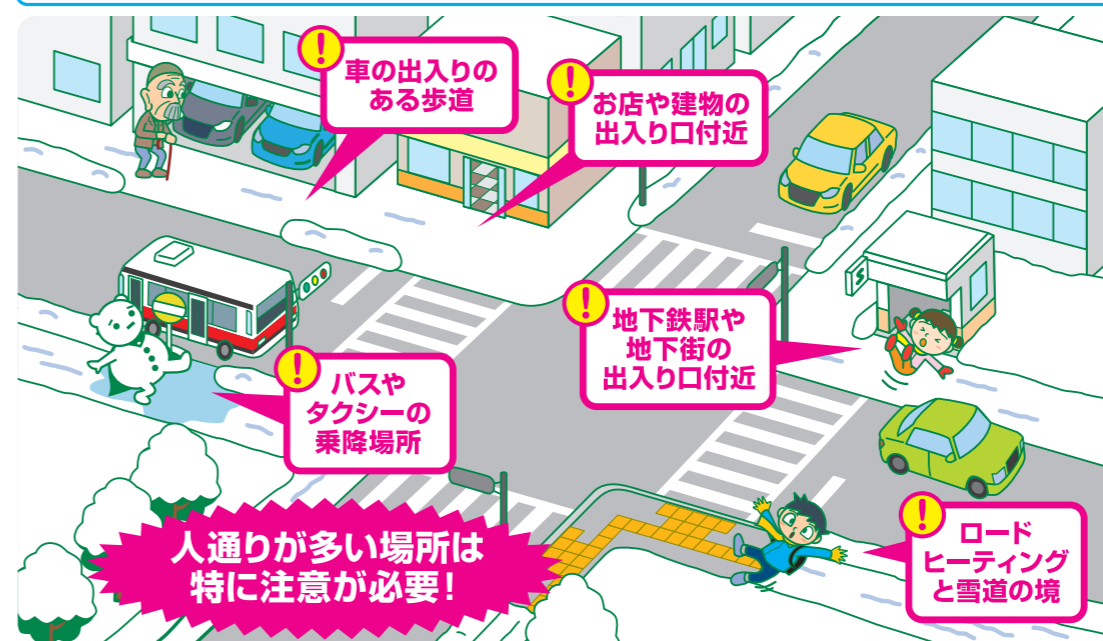
まずは滑りやすい条件を確認

つるつる路面が発生しやすい条件

初冬期など気温が0℃以上になった後に再び冷え込むとき



つるつる路面になりやすいところ



人通りが多い場所は特に注意が必要！

歩き方や服装で対策

転びにくい歩き方

- 歩幅を小さく
- 靴の裏全体をつけて
- 急がずに余裕を持って



服装・持ち物

～転んだときのけがを防ぐ～

- 滑りにくい靴を履く
- 帽子や手袋を着用
- 手に荷物を持たず両手が空くリュックなどを使用

札幌発！冬みちを安全・快適に歩くための総合サイト



砂まきにご協力をお願いします

- 都心部や地下鉄駅の周辺など、人通りの多い交差点を中心に砂箱を設置しています。
- 砂箱の砂は、誰でも利用することができます。
※道路(歩道・車道)への砂まきが対象



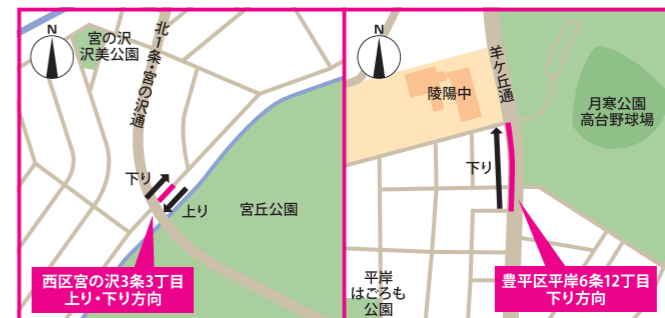
ご自身のため、後から通る方のため、ご協力をお願いします。

春先の砂の回収について

- 冬にまいた滑り止めの砂は、春先に路面清掃車や人力によって回収しています。
- 公共の場所の砂を回収していただいた場合は、ボランティア袋*に入れてごみステーションに出すことができます。
※区役所などで無料でお渡ししています

令和5年度から右記のロードヒーティングを停止します

ロードヒーティングを停止した場所では、交通の安全性を確保するために道路の表面を滑りづらい舗装に変え、凍結防止剤の散布強化などを行います。



ロードヒーティングも万能ではありません！

以下の気象条件では効果が表れないこともあります。



毎秒5m以上の風が吹いているとき
毎時3cm以上の降雪量が続いているとき
-7℃以下の気温になっているとき